

| 議案 | 付託 委員会 | 本会議 の結果 | 市政 II | 市 フ 8 | 公 明 5 | 生 ネ 3 | 共 産 3 |
|----|-----------|------------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|----|-----------|------------|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|

★ 主な議案(他に、物品の買入れが1件) ○賛成 ×反対 △継続審査

| | | | | | | | |
|---|------|----|---|---|---|---|---|
| 府中市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例及び職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 総務 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 府中市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | 総務 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 府中市市税条例の一部を改正する条例 | 総務 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 府中市都市計画税条例の一部を改正する条例 | 総務 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 府中市営住宅条例及び府中市高齢者住宅条例の一部を改正する条例 | 厚生経済 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

★ 主な陳情・請願 ○採択 ×不採択 △継続審査

| | | | | | | | |
|---|------|-----|---|---|---|---|---|
| 文化庁への要請「漢字を国語研に研究させるべし」に関する陳情 | 文教 | 不採択 | × | × | × | × | × |
| 社会福祉協議会管理職に女性職員登用の件についての陳情 | 厚生経済 | 不採択 | × | × | × | × | × |
| 介護労働者の人材確保についての陳情 #1 | 厚生経済 | 継続 | × | △ | △ | △ | △ |
| 稲城市・南山開発地内への「府中市墓苑計画」に関する陳情 | 総務 | 不採択 | × | × | × | ○ | ○ |
| 「国立医薬品食品衛生研究所の府中移転計画について、府中市のさらなる検証と市民への情報開示等を求める要望」に関する陳情 #2 | 基地対策 | 継続 | △ | △ | △ | △ | △ |
| 朝日町1丁目地内大規模開発予定地沿道での歩道設置に関する陳情 | 建設環境 | 継続 | △ | △ | △ | △ | △ |
| ごみ箱撤去大反対についての陳情 | 建設環境 | 継続 | △ | △ | △ | △ | △ |
| 住友不動産株式会社による「(仮称)府中市府中町1丁目マンション計画」(けやき通り沿い)の見直しを求める陳情 #2 | 建設環境 | 継続 | △ | △ | △ | △ | △ |

- #1 介護労働者の人材確保が厳しい状況にあります。この陳情は、①国に対する意見書提出と、②市として住宅手当を出すことの二つを求めた内容でした。②が困難なため、採択はできませんでしたが、①の意を汲んで、全会一致で国に対して意見書を提出することになりました。
- #2 美術館の北側の府中基地跡地に、バイオ実験などをする研究所が移転してくる計画です。安全性についての説明がまだ充分ではなく、周辺住民の皆さんが不安に感じています。議会としても重く受け止め、基地対策特別委員会として「衛生研」に説明を求めることになりました。
- #3 けやき並木沿い、スーパー丸正跡地にマンションが建つ計画です。今年4月から施行された「景観条例」、「景観計画」では、けやき並木が特別地区に指定されています。私有財産権との景観とのバランスが問われています。

フリーダムネット

No.31 2008.7

< 6 月議会報告 >

行政の生産性をあげる

これから本格的な少子高齢社会を迎えますが、府中市でも福祉関係を中心に支出の伸びが予想される一方で、収入の伸びはそれほど期待できません。さらに、地方分権が進むことは確実だと思いますが、これと合わせて、800兆円とも1000兆円ともいわれる国の大借金の肩代わりも余儀なくされるでしょう。いずれにしても今後厳しい財政運営を迫られることになると思われます。

そこですぐ行政サービスのカットと判断するとすれば、それは安易な考えで、必要な行政サービスはあくまでも低下させてはならないと思うのです。では、財政逼迫の中で必要なサービスを守るにはどうすればよいか。そこで考えられるのが「生産性の向上」です。

幸か不幸か、優良な民間と比べ、行政には「生産性を向上」させる余裕がまだまだあります。そして、事業の必要不要を見極め、事業の徹底的な見直しを可能とするものが、「成果」であると私は思います。「成果」を測定し、行政の生産性をあげることを求めて、今回一般質問をいたしました。

府中市議会議員・府中の元氣

杉村康之



ご意見ご声援をよろしくお願いいたします！

TEL ◆042-335-0097 / FAX ◆042-361-9856

Email ◆sugimura@sea.sannet.ne.jp

URL ◆http://www.fuchu21.gn.to

郵便振替 ◆00150-1-102251(フリーダムネット)

銀行口座 ◆みずほ銀行府中支店 普 1191337



成果重視の行政を 6/11 一般質問より

杉村 近年、地方自治体では、少子高齢社会を迎えるなど行政需要がますます増える一方、収入の伸びはあまり期待できず、さらに国の借金の肩代わりを余儀なくされ、今後厳しい財政運営を迫られることになると思われます。本市も例外ではありません。そんな厳しい中で、必要な行政サービスを低下させないためには、生産性を向上させるしかありません。すなわち限られた資源で最大の効果を生み出す行政技術の「革新」が今こそ求められています。この「革新」を可能にするのが「成果」であると私は考えます。

市の一連の行政評価制度の中で、「成果」あるいは「成果の測定」というものが、どう位置づけられていますか？

行政評価担当参事 本市の事務事業評価制度では、評価指標を設定しています。指標には行政のサービス量を示す「アウトプット指標」と行政活動の結果、市民に及ぼされる影響の大きさを示す「アウトカム指標」の二種類があり、一般的にはアウトカム指標によって成果を測るべきとされています。

しかし事業の性質によっては、指標の設定、成果の測定が難しいものもあります。今後、成果をどう測っていくか、更なる研究が必要と考えます。

杉村 府中市の事務事業評価表をみると、いわゆる「アウトプット指標」がほとんど。成果を測るためには、「アウトカム指標」の設定を原則とすべきだと思いますがどうでしょうか？

行政評価担当参事 そもそも評価指標の設定が可能かどうかを含めて事業を類型化し、その上で、評価可能とされたものについては原則「アウトカム指標」の設定をするようにしてまいります。

行政の成果も測ることができる

行政はよく民間と比較されます。「民間」がすべて必ずしも素晴らしいわけではありませんが、優良な「民間」が日本にはたくさんあり、みな、絞った雑巾をさらに絞るような努力と工夫を重ねています。それに比べれば、行政はまだまだ水浸しの雑巾だと思います。

これまでの議会活動の中で、いくつかの事業の「成果」を聞いてきましたが、明確に成果がわかる答弁というものはあまりありませんでした。

杉村 具体的に、例えば母子保健事業の評価表では、子供の健診の受信者数が指標となっているが、これは典型的な「アウトプット指標」です。事業の目的である、母子の健康の保持や増進を意識して事業を行っていると思いますが、その健康度を測るデータを主管課では持っていないですか？

行政評価担当参事 受信者数については、目標値が2273人、実績値が2095人ですが、その他にも、健診を受け「問題あり」とされた児が326人、そのうち精密検診を受けて「問題なし」となった児が3人、あるいは経過観察後「問題なし」となった児が39人いたことなどのデータもあります。その他の児については、医療機関での経過観察や治療を受けていただいています。

杉村 この健診によって何らかの健康に懸念のあるお子さんがこれだけ発見され、その中で $3+39=42$ 人は健康が確認され、 $326-42=284$ 人は、医療機関に引き継がれているということです。このことは、もしこの事業がなかったら発見されなかったことです。まさに事業の成果であり、成果を数字で確認できるわけです。ぜひ、原則アウトカムによる設定を進めて頂きたいと思います。

その他に、今後の課題と対応は？

行政評価担当参事 事務事業評価においては、「評価の単位」と「予算の事項」とが、必ずしも明確に関連づけられていませんでした。また、翌年度の予算編成などにあたり、十分に評価結果が活用されていない部分も見受けられました。

今後は、「評価の単位」と「予算の事項」との結びつきを明確にし、評価結果と予算編成との更なる連動を図り、評価結果の有効活用に努めていきたいと考えます。

行政というものがそれほど「成果」を意識せずに事業を行ってきたことを端的に示すものでしょう。行政の成果はなかなかかはれるものじゃない、という声もよく聞きます。果たしてそうでしょうか。母子保健事業も詳しく聞き出せば、成果を測る数字が出てきました。

これまでの行政では成果を測る必要性があまりなく、熱心でもなかったというだけで、本気で取り組めば工夫次第で可能になると私は思います。成果を測り、生産性があがるよう、しっかりと見てまいります。

